

施策評価シート

令和 5 年度

総合 体系 計画	分野	1	第1章	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	施策統括課	中心市街地振興室
	施策No.	3	施策名	賑わいあふれる中心市街地の活性化	課長名 (施策統括責任者)	藤田 泰浩
	関係課	交通政策課 経済政策課 中心市街地振興室 佐賀駅周辺整備室				

1. 施策の目標

めざす姿 (成果目標)	中心市街地は、魅力的に整備され、多くの歩行者で賑わっている
取組方針	中心市街地の既存の社会資本を活かした賑わい創出拠点の整備や多様な公共施設、商業施設等の立地促進など、都市機能のさらなる充実を図ります。また、訪れやすく気軽に街歩きを楽しめる回遊性の高い街づくりを推進するとともに、働く場としての業務機能の充実と街なか居住を推進します。さらに、街づくりに取り組む市民活動団体の育成や街なかの情報発信の充実に取り組みます。

2. 施策の意図と成果指標

対象 (誰、何を対象としているのか) *人や自然資源等	市民、中心市街地居住者、中心市街地就労者							
意図 (この施策によって対象をどう変えるのか)	中心市街地の歩行者通行量を増加させることにより街を活性化する。							
成果指標 A								
主要商店街通行量 (年4日間：12箇所計測)							単位	120000.0
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標	人	100000.0
51349.0	75000.0 63150.0	80000.0 46780.0	85000.0 51607.0	90000.0 52168.0	95000.0 0.0	100000.0		
成果指標 B								
中心市街地居住者数							単位	9600.0
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標	人	9462.0
9238.0	9075.0 9083.0	9349.0 8989.0	9387.0 8850.0	9387.0 8803.0	9424.0 0.0	9462.0		
成果指標 C								
-							単位	-
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標		
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0		
成果指標 D								
-							単位	-
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標		
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0		
成果指標 E								
-							単位	-
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標		
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0		

## 施策評価シート

### 3. 市民意向調査結果

施策の重要度	前回	今回	
重要である	46.2%	43.9%	↓
ある程度重要である	39.0%	36.5%	↓
あまり重要ではない	6.9%	8.0%	↑
重要ではない	2.3%	2.2%	↓
順位	21/36位	20/36位	↑

施策の満足度	前回	今回	
満足している	3.0%	3.0%	→
どちらかといえば満足	28.9%	30.4%	↑
どちらかといえば不満	42.2%	39.9%	↓
不満である	14.4%	12.1%	↓
順位	36/36位	35/36位	↑

### 4. 社会潮流等の変化について（第2次総合計画策定時からの市民ニーズの環境の変化、法整備状況等）

<p>○市民ニーズの変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症に起因する時間消費・金銭消費の変化（デジタル技術の活用等）</li> <li>・既存ストック（遊休不動産）を活用した出店ニーズの高まり</li> </ul> <p>○環境の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・縮退社会への突入によるコンパクトな街づくりへの対応が急務（中心市街地の拠点性の向上が必要）</li> <li>・SAGAアリーナ開業に伴う交流人口の増加への対応</li> </ul> <p>○法整備状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央大通り沿道建築物への耐震診断の義務化（H30：耐震改修促進計画の改正）</li> </ul>
--

### 5. 施策を推進していく上での新たな課題、新たな視点

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「街なか再生の基盤整備」と「魅力ある店舗・施設の整備と立地促進」は、中央大通りの現状（耐震診断義務化建築物の解体進行等）を踏まえ、民間投資喚起策の一層の充実が求められる。</li> <li>・「賑わい創出の支援」は、行政のみではなく、民間事業者等と一体となって展開していく視点が必要である。また、来街者の多様なニーズに対応するためにも、デジタル技術の活用による利便性・機能性の強化を図っていく必要がある。</li> </ul>
---

### 6. 施策の課題解決に向けた今後の取組の方向性・内容等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「街なか再生の基盤整備」と「魅力ある店舗・施設の整備と立地促進」は、重点エリアである中央大通りを中心として、更なる民間投資を喚起するための取組を展開する。</li> <li>・「賑わい創出の支援」は、賑わいの主体となる街なか店舗等の経営力強化を図るため、デジタル技術を活用しながら、来街者ニーズの捕捉と対応策を講じていく。</li> </ul>
--